

令和8年6月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	1	議席 番号	3	氏名	仲 亀 恭 平 議員	1 / 1
発言項目				要 旨		答弁者
1	“難聴”を見逃さない！ ～乳幼児から高齢者まで切れ目ない難聴対策を～			<p>耳の聴こえは、こどもの言語発達や高齢者の社会参加において極めて重要である。しかし、難聴は「本人が自覚しにくい」、「周囲から見えにくい」という特性があり、受診に結びつきにくい課題がある。</p> <p>難聴への正しい理解と早期対応を促すこと、そして乳幼児から現役世代、高齢者まで途切れなく耳の健康を支え、気軽に検査できる環境を構築することについて、本市の考えを伺う。</p> <p>(1) 乳幼児における難聴の早期発見と治療について伺う。</p> <p>① 検査の実施状況。</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 新生児期の聴覚検査。</p> <p style="margin-left: 20px;">イ 1歳6か月児健診。</p> <p style="margin-left: 20px;">ウ 3歳児健診。</p> <p>② 再検査となった子どもへのフォローアップ体制。</p> <p>③ 専門医療機関との連携。</p> <p>④ 保護者への情報提供。</p> <p>(2) 学校健診における児童生徒の難聴の早期発見について伺う。</p> <p>① 学校健診(聴力検査)の実施状況と受診率や課題を伺う。</p> <p>② 難聴の兆候がみられた児童生徒及びその保護者に対するフォローアップ体制を伺う。</p> <p>(3) 高齢者の難聴対策と認知症予防について伺う。</p> <p>① 難聴と認知症リスクの関係についての市の認識について伺う。</p> <p>② 高齢者補聴器購入費助成金制度について、これまでの交付実績や市民からの反響、さらに事業の効果と今後の課題を市はどう評価しているか伺う。</p> <p>③ 高齢者における難聴の早期発見と治療について伺う。</p> <p>(4) 難聴は「本人が自覚しにくい」、「周囲から見えにくい」ため、相談や受診が遅れるという課題を抱えている。市は、この課題をどう認識しているか。また、市民が耳の健康を「自分ごと」として捉え、自発的に受診や相談に向かうよう、啓発活動を強化する考えはあるか伺う。</p> <p>(5) 難聴の兆候を見逃さないための切れ目ない連携体制を伺う。</p> <p>(6) 身体健診業務の推進について伺う。</p> <p>① 実際の会話の聞き取り能力を測定できる、先進的聴覚検査(ACT)に対する本市の認識を伺う。</p> <p>② 正しい補聴器選びや適切な治療を受けられる環境をつくるため、先進的な検査手法を導入・推進していく考えはあるか、市の方針を伺う。</p>		市 長 副 市 長 教 育 長 関 係 部 長